

Pah-Tum

プレイ人数：2人用 / プレイ時間：約20分 / 対象年齢：6歳以上

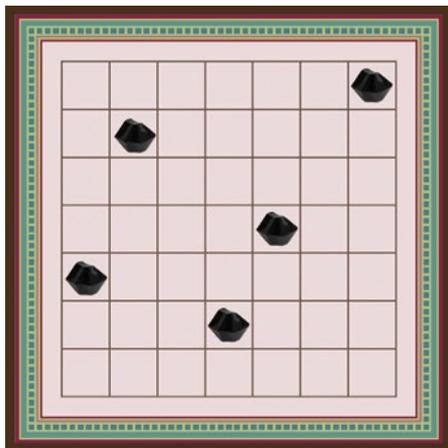
パートム (Pah-Tum) は、紀元前に遊ばれていた五目並べの仲間です。古代アッシリアやメソポタミア、エジプトの遺跡でボードが発見されており、紀元前18世紀までさかのぼることができると考えられています。障壁となる中立のストーンをランダムに配置する点や数列に基づくスコアリングが特徴的ですが、元のルールは先手に強力なアドバンテージがあるため、この点を緩和するために考案したヴァリアントルールを後述します。

コンポーネント

- ・ 7×7の正方形のボード
- ・ 3色のストーン 65個 (黄、青が各30個、黒5個)

セットアップ

はじめに黒いストーンをボード上にランダムに配置します。適当な方法で使用する色 (黄と青) および先手、後手を決めます。



(図1) セットアップの例

ゲームプレイ

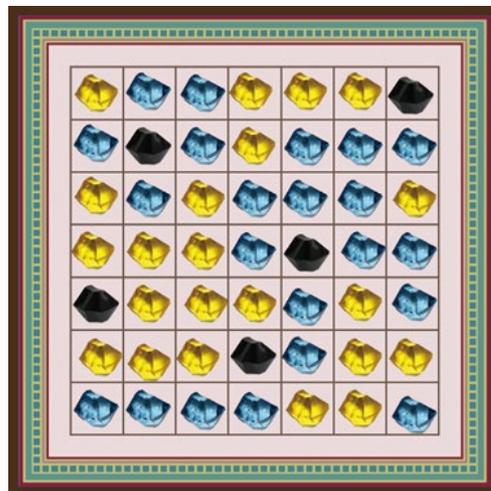
先手となったプレイヤーから、手番ごとに一つずつ、自分の色のストーンをボード上の空いているマスに配置します。ボードの空きマスがすべて埋まったらゲーム終了です。

スコアリング

縦または横に一つにつながっている同色のストーンをチェックし、列の長さごとに以下の得点を獲得します。列が違う場合、同じストーンを2度カウントして構いません。

- ・ 3連 - 3点
- ・ 4連 - 10点
- ・ 5連 - 25点
- ・ 6連 - 56点
- ・ 7連 - 119点

合計得点の高いほうのプレイヤーが勝利します。同点の場合は引き分けになります。



(図2) 黄28点 (3*6 + 4*1)、青19点 (3*3 + 4*1) で黄のプレイヤーの勝利。

ヴァリエント：カストディアル・パータム

元のルールの先手有利を緩和するため、キャプチャールールを加えて調整したヴァリエントルールです。

セットアップ

先手・後手を適当な方法で決めます。黄色を先手とします。後手のプレイヤーから順に、ボードに黒いストーンを1つずつ配置します。

※他の方法として、まず一方のプレイヤーが黒いストーンをすべて配置した後、もう一方のプレイヤーが先手となるか後手になるかを決める、という形式にしてもかまいません。

ゲームプレイ

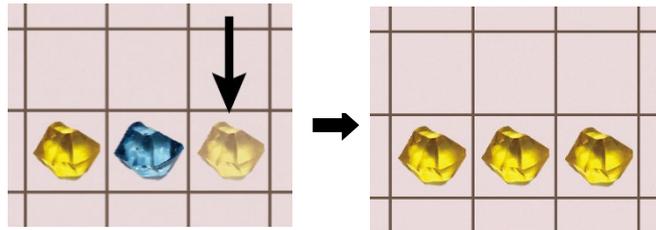
先手のプレイヤーからはじめ、1手番にひとつずつ、自分の色のストーンを空いているマスに配置します。

キャプチャ

自分の新たな配置によって、自分の2つのストーンが他の色のストーン**1つ**（黒いストーンの場合を含む）を縦か横で挟むかたちになった場合、その挟まれたストーンを取り除き、それがあった場所に自分のストーンをもうひとつ追加します（挟まれたストーンが相手のストーンだった場合、取り除いたストーンは相手に返します）。

同時に複数の方向でストーンを挟んだ場合は、そのうちの1つのみを上記に従って自分の色のストーンと交換します。

キャプチャが起こるのは、そのターンで置かれたストーンによってのみです。プレイヤーは敵の2つのストーンの間、に、キャプチャされることなく自分のストーンを置くことができます。



（図3）矢印の位置にストーンを置いた黄色プレイヤーは、中間の青いストーンを置き換えることができる。間にあるのが黒いストーンの場合も同様の処理を行う。

ゲームの終了

ボードの空きマスがすべて埋まったらゲームを終了します。もし一方のプレイヤーが置けるストーンがなくなった場合、その時点でゲーム終了とします。スコアリングは前記した古典ルールと同様です。